

令和2年度 事業計画  
就労継続支援B型事業所  
まごころ授産所

運営理念

- 質の高いケア
- 人権擁護
- 利用者本位

施設理念：「自立をめざし「共に働き」「共に生きる喜び」を醸し出せる。」「共にサービスを提供する。」

行動指針

- ・個を大切に支援しよう。
- ・いつも共にし、皆同じであり、皆一緒。
- ・できた時はほめ人の役に立っていることを伝えよう。
- ・常に共に成長し続けよう。

施設の設立目的：地域の中で自分らしく生活できる、一生を全うできる、人生を築ける場を提供できる施設。

ビジョン

相談支援事業所 まごころ

別館作業所

就労継続支援B型事業所  
まごころ授産所

共同生活援助・グループホームまごころ男子棟

就労支援事業の充実

工賃向上計画

- ・工賃向上計画の周知徹底をはかり取り組む。
- ・生産活動部署での定期的な会議
- ・今年度は就労支援事業より(13,500,000円)を見込む。昨年より-120万
- ・好生館・県図書館配達継続
- ・施設外就労の他事業を探索と再活動。
- 「ころBox、和み味噌を全員で取り組む(営業活動、販路拡大、工賃向上計画の意識づけ)
- ・利用者さんと一緒に働くことの楽しさ、喜びを語る。
- ・利用者さんとともに働くことの意識と意義を伝えていく。
- ・残余土地での野菜作り(弁当材料以外の余剰分の出荷)
- ・弁当事業の営業企画会議

健康管理

- 定期健診実施(5月)
- 歯科健診(9月)
- ・衛生検査(2回/月)
- ・感染予防(インフルエンザ、ノロウイルス、食中毒)・手洗い・うがいの励行とマスク着用
- ・バイタルチェック・毎日
- ・定期的な体重測定
- ・訓練中の体力増強としてウォーキング・ラジオ体操

サービスの質の向上

- ・個別支援計画、支援会議、モニタリングの、相談支援事業所との連携(12月、6月期間を守る)
- ・個別支援計画の実践(評価→再査定→再立案のサイクルを丁寧に)
- ・高齢者の個別支援の強化
- ・統合失調症、高次脳機能障害、精神障害者の支援強化、発達障害、強度行動障害(自己学習、研修)
- ・職員一人一人の支援のスキルアップに努める。(自己学習の強化)
- ・交通安全教育の実施(朝礼時にその都度実施)・安全運転管理者連絡会から送付されるチラシを毎月配布
- ・実習生受け入れ(社会福祉士・精神保健福祉士学科生、中・高校生、看護学生、ボランティア生)
- ・職員研修(県社協の研修参加)(障害者差別解消法、意志決定支援ガイドラインの自己学習)
- ・防災訓練(9・3月及び風水害の避難訓練を追加)
- ・作業支援・生活指導・支援→家族との連携
- ・ホームページの充実(随時の更新)
- 利用者の安全の確保(傷害保険、支援、交通事故)
- ・保護者会との連携・共有

自立を目指す・就労支援

- ・生活支援、就労をめざす訓練の継続。
- ・就労者の増加を目指す(職場見学等)
- ・県就労支援室、障害者就業・生活支援センター・ハローワーク・障害者職業センターとの連携
- ・障害者合同就職面接会参加

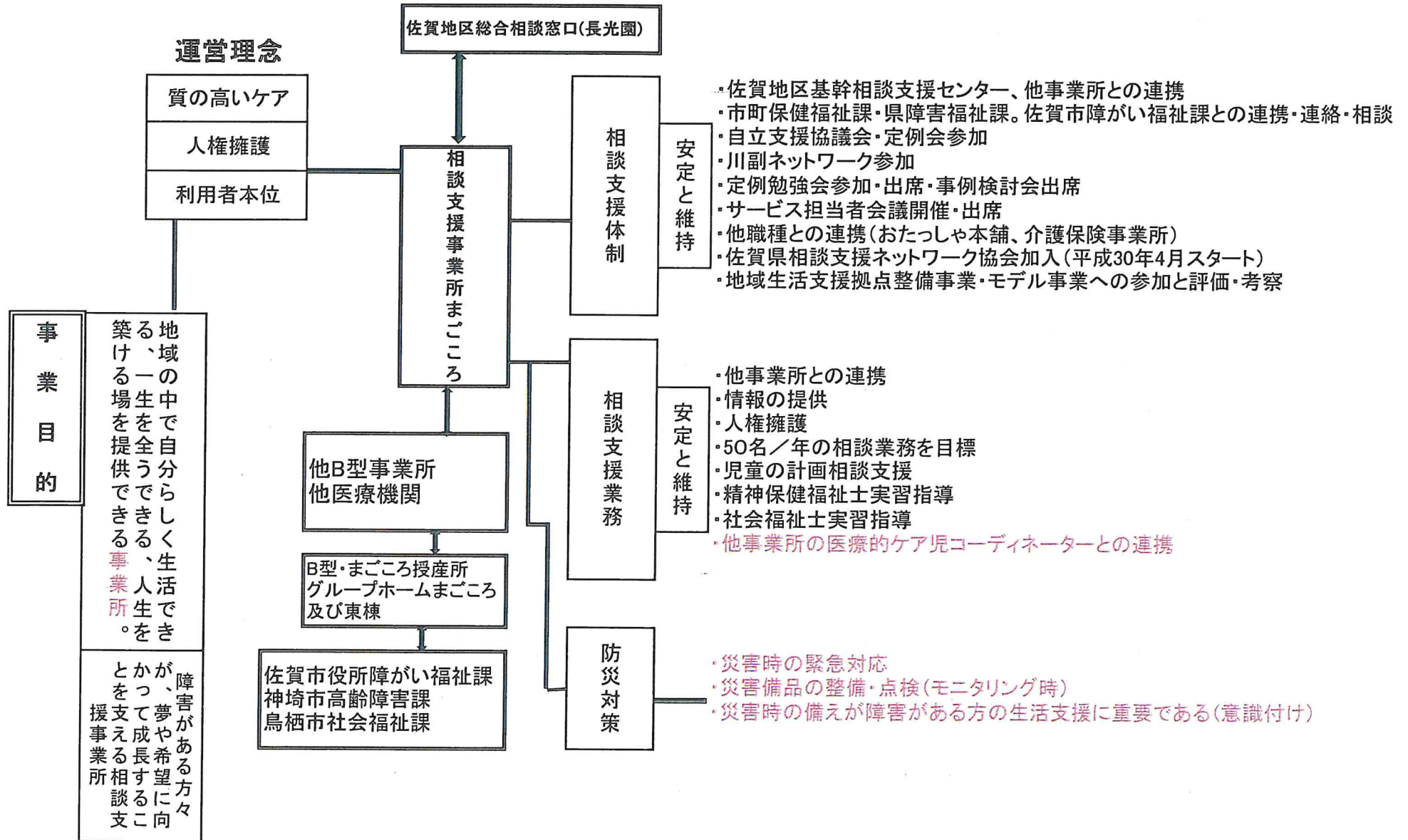
社会参加・地域住民との交流

- ・南川副まちづくり委員会との連携(あつまろう祭)
- 夏まつり(9月)・避難訓練合同訓練(9月・3月)・もちつき大会(12月)
- ・奉仕活動への積極的な参加・カン拾い・ゴミ拾い
- ・手をつなぐ育成会事業(えがおの会)支援
- まごころ授産所行事(親睦旅行・スポーツ大会・運動会・ポーリング大会他)
- ・地域住民とのふれあい(高齢者クラブ・グランドゴルフ参加・みんなで歌をたのしみましょう)参加
- ・歳末助け合い募金活動協力・24時間テレビチャリティ募金活動参加

○ は予算化している事項

令和2年度 相談支援事業所まごころ事業計画

第2号議案資料(3)





# R2年グループホームまごころ 及び東棟 事業計画

**理念**

**事業目的**

- ・あたりまえの日常・安心ある生活が送れるホーム
- ・その人にとって「充実し、満たされた暮らしを」

自己決定や自己選択の尊重  
人格形成・成長への支援  
(自主性に基づいた生活スタイルの確立)

個別支援計画の充実

## グループホームまごころ・東棟

相談支援事業所との連携

### 短期入所まごころ (東棟も含)

- ・重度障害者・児受け入れ(世話人のスキルアップ)
- ・平均的な利用を目指す
- ・医ケア児宅への訪問と事業所の紹介

### 地域の中で暮らす

- ・地域住民としての生活の自覚→教育
- ・積極的な地域行事への参加(自治会行事)
- ・社会的なルールを理解するための指導・支援→個別支援計画の充実

### 自立生活への支援

- ・食事支援・・・治療食【糖尿食・低Na食・腎臓食】配慮
- ・排泄支援
- ・入浴支援・・・安全面について(浴槽内での発作、転倒防止への配慮)
- ・衣服、更衣支援
- ・清潔(居室、環境)支援
- ・環境支援
- ・睡眠支援
- ・余暇の充実(自分で楽しめない人たちへの個別プログラム作成・社会参加への配慮)

↓  
個別支援計画の充実

### 防災対策

- ・災害時の緊急対応
- ・防災備品の整備・点検
- ・避難訓練
- ・夜間、休日の緊急体制(適切かつ迅速な応援要請)
- ・川副ネットワークでの防災マニュアル作成・実践・協力

### 健康管理

- ・体調管理(自己管理を支える)
- ・食事管理
- ・服薬管理
- ・衛生管理(感染予防)
- ・家族との連携・連絡

### 日中生活を支える

- ・他事業所との連携
- ・家族への支援と伝達
- ・就労先との連携
- ・東棟との連動・連携

### 支援スタッフのスキルアップ

- ・世話人の研修、報告会
- ・担当職員との情報の共有化
- ・新スタッフの教育と実習・研修

### グループホーム東棟との一体化

- ・空床室を満室へする広報に取り組む
- ・相互支援への統合と協力体制
- ・相談支援事業所との連携

- ・児童の受け入れ継続
- ・地域生活支援拠点事業への協力とその評価
- ・体験入所の機会の場として